

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年3月30日
2次評価日（課長等）	30年3月30日

1 事業名	青少年活動育成支援事業	コード	102302
-------	-------------	-----	--------

2 担当部課	部等	教育部	課等	生涯学習課（生涯学習活動センター）	作成者	笠原利彦
--------	----	-----	----	-------------------	-----	------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政 策	生涯学習の推進	施 策	青少年の健全育成
		予算科目	青少年活動育成支援事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	青少年の健全育成のため関係団体との連携、協調を図り、青少年が心身ともにたくましく成長するよう野外活動や体験活動を実施する。	
目的	対象者	青少年、関係機関、関係団体
	意 図	青少年が明るく元気で、のびのびと成長できるようにする。

5 事業の実施内容		*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
<p>1. 青少年問題協議会 ・幹事会 1回 ・協議会 1回</p> <p>2. リーダーズ倶楽部活動 部員 中学1年生から高校3年生 58人 内容 リーダーズ倶楽部員が行事を通して、学校や年齢の違う参加者（小・中学生）に対し指導し、また共同生活する中で倶楽部員自身も成長することを目的にしている。 ・定例会、研修会 ・野外体験活動の企画、運営 ・県外研修 ・新スタッフ加入説明会</p> <p style="text-align: right;">・塩嶺野外活動センター清掃奉仕活動 ・夏休み子ども交流事業への協力参加 ・クリスマス会の企画、運営</p>		
前年度の課題への対応	特になし	

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	27年度	28年度	29年度	30年度（予算）	
① 活動指標（指標名）				単位	回
実績値	9	9	9		
*指標の説明	リーダーズ倶楽部関係事業の実施回数				
② 成果指標（指標名）				単位	人
目標値	690	700	700	700	
実績値	662	655	650		
達成度	95.9%	93.6%	92.9%		
*指標の説明	リーダーズ倶楽部関係事業の参加者数				
*目標値の設定方法の説明	前年度の実績に基づいて設定				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	1,353,990	1,395,060	1,358,236	1,819,000
経常経費	1,353,990	1,395,060	1,358,236	1,819,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	12,000,000	12,000,000	9,200,000	9,200,000
正規職員の人数(人)	1.50	1.50	1.15	1.15
③ 合計コスト(①+②)	13,353,990	13,395,060	10,558,236	11,019,000
前年度比		100.3%	78.8%	104.4%
財源				
一般財源	13,353,990	13,395,060	10,558,236	11,019,000
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	1,483,777	1,488,340	1,173,137	
前年度比		100.3%	78.8%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
県子ども会育成連絡協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	63,130	63,250	63,190	63,000
輝けおかやつ子GUGUチャレンジ事業負担金	件数	1	1	1	1
	金額	473,378	355,135	479,453	539,000
夏休み子ども交流事業負担金	件数	1	1	1	1
	金額	442,349	550,014	434,864	663,000
リーダーズ倶楽部活動事業負担金	件数	1	1	1	1
	金額	230,983	237,963	235,123	358,000
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	1,209,840	1,206,362	1,212,630	1,623,000
	割合	89.35%	86.47%	89.28%	89.22%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		0
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 99.2%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 92.9%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 特になし	
	改善方法	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 特になし
		改善開始時期

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---